

令和7年度第2回西仙北地域協議会会議録

令和7年9月30日

西仙北地域協議会

令和7年度第2回西仙北地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催会場	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■内容	3
西仙北高校「地域探究Ⅲ」発表会	3
案件	
(1)大仙市行政サービス改革・DX 推進大綱について	4
(2)令和7年度地域枠予算申請状況について	6
(3)彩色千輪プロジェクト事業 (地域拠点利活用活性化事業)の進捗状況について	6
■閉会	7
■署名	8

■開催日時：令和7年9月30日（火）14時00分から

■開催会場：大仙市役所西仙北庁舎3階大会議室

■出席委員：9名

藤原由子委員	出雲勲委員	佐々木博幸委員	佐藤正子委員
佐藤忍委員	五十嵐美津子委員	佐藤晴子委員	田口峰男委員
今田秀俊委員			

■欠席委員：6名

大嶋英紀委員	加藤敦子委員	佐藤冬希委員	小笠原喜悦委員
石神雅是委員	齋藤法委員		

■出席職員：9名

高橋進（支所長）	齊藤良子（市民サービス課長）
佐藤由美子（農林建設課長）	遠藤隆伸（大綱交流館長）
佐藤恵里子（地域活性化推進室主幹）	田口輝（地域活性化推進室主事）
小松久喜（DX推進課長）	長谷川祐城（DX推進課主幹）
伊藤崇宣（DX推進課主査）	

■次第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 内容
西仙北高校「地域探究Ⅲ」発表会
案件
(1)大仙市行政サービス改革・DX推進大綱について
(2)令和7年度地域枠予算申請状況について
(3)彩色千輪プロジェクト事業
(地域拠点利活用活性化事業)の進捗状況について
- 6 閉 会

○今田秀俊会長（以下、「会長」と表記する）

本日は、お忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまから「令和7年度第2回西仙北地域協議会」を開会いたします。

○会長

開会にあたり一言挨拶させていただきます。

今年は米の価格が去年の約倍である60kg3万円となっており、米以外の物価も高騰しております。より景気の良い世の中になってほしいといつも思っております。

さて、9月、10月には各地域でお祭りの開催が予定されております。その中には地域枠予算を活用した事業もあります。多くの方が参加されて、地域が仲良く、明るい雰囲気になってほしいと思っております。

この後、西仙北高校の生徒の皆さんによる発表もあるとのことで、楽しみにしております。本日はよろしく願いいたします。

○会長

次に、支所長からも挨拶を頂戴したいと思います。

○高橋支所長（以下「支所長」と表記する。）

本日は、ご多用のところ、今年度第2回の西仙北地域協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、委員の皆様におかれましては、日頃より市政運営にご理解、ご協力を賜っておりますことに対し、心から感謝と御礼を申し上げます。

一昨日、任期満了に伴う大仙市議会議員選挙の投開票があり、現職18名、新人6名の合わせて24名の市議会議員が決定しました。西仙北地域では、結果としてこれまでの半数となる2名となってしまいました。当選されたお二人には明日からの4年間、これまで同様に地元西仙北地域のため、そして大仙市のためにご活躍されますことを期待したいと思います。

今回の選挙における市全体の投票率は58.86%で、令和3年の前回選挙の62.4%から3.54ポイント下回り、過去最低となってしまったようです。西仙北地域の投票率は58.37%で、前回選挙の65.84%から7.47ポイント下回っております。直近に行われた選挙は、7月20日に執行された参議院議員通常選挙ですが、その際の西仙北地域の投票率は58.74%でした。市議会議員選挙は最も身近な選挙であるにもかかわらず、国政選挙よりも低い投票率になってしまったことは非常に残念に思います。選挙については、期日前投票をされる方が増えている一方で、投票率が低下する傾向にあります。投票率の低下にはいくつかの原因があると思われませんが、この度の投票率を受け、何らかの対策が必要であると強く感じたところであります。

さて、本日の地域協議会の議題につきましては、第1部として、西仙北高校の生徒の皆さんが、西仙北地域の食、文化、歴史、自然等について理解を深め、地域の活性化や発展につなげることなどを目的に取り組まれている『地域探求』の発表をしていただきます。

次に、第2部として、DX推進課から「大仙市行政サービス改革・DX推進大綱」の説明後、事務局の担当が地域予算の申請状況と彩色千輪プロジェクトの進捗状況を説明させていただきますので、よろしくお願い申し上げます、簡単ではありますが、私のあいさつとさせていただきます。

○会長

次に、会議録署名委員の指名についてですが、会議録署名委員には、出席委員から名簿順に、出雲 勲(イズモ イサオ)委員と佐々木 博幸(ササキ ヒロユキ)委員をお願いいたします。なお、本日の出席委員は15名中9名ですので、2分の1以上出席しており、会議が成立することをご報告いたします。

○会長

はい。議事を進行させていただきます。

はじめに議題第1部、西仙北高校生による地域探究Ⅲの発表会を行います。

【西仙北高校生徒による発表】

①食で人々の心をつかめ！

②雄物川の歴史観光利用～自然との共存～

○会長

西仙北高校生徒の皆さんありがとうございます。委員の皆さんから、ご意見、ご質問等ありませんでしょうか。

○会長

それでは私から申し上げたいと思います。本日は発表をいただきありがとうございます。細かいところまで丁寧に研究していると思いました。1グループ目については、西仙北で採れる野菜を良く調べており、枝豆を使ったグルメの提案については、企業の商品開発チームのように専門的な発表だと感じました。2月10日の刈和野の大綱引きには多くの人が集まりますが、行事が終わると一気に人がいなくなってしまう。皆さんに提案いただいたようなグルメを通して通年アピールできれば良いなと思いました。

2グループ目の提案については、雄物川の歴史を観光資源として利用するという面白い視点での発表でした。現在は、外国人がどんどん日本に観光に来る時代ですので、そういった方々を多く巻き込んで欲しいと思いました。若者がこのような提案を考え、地元に住んでいるということは大変ありがたいことです。これからも引き続き頑張ってください。

○会長

他に何かご意見、ご質問はありませんでしょうか。

意見がないようですので、これもちまして、地域探究Ⅲ発表会を終わります。次に、案件に

入りますが、準備が整うまでしばらくお待ちください。

○会長

それでは、案件に移ります。案件（1）大仙市行政サービス改革・DX推進大綱についてDX推進課より説明をお願いします。

○DX推進課

【配布資料に基づき説明】

○会長

ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はありませんでしょうか。

私から質問ですが、資料の中に記載のあった地域情報化推進委員会はどこにあるのでしょうか。

○小松課長

こちらはDX推進課で事務局を務めている任意の協議会です。各地域から1名ずつ8名で構成されています。

○会長

それはこれから作るのですか。

○小松課長

平成22年から継続的に開催している協議会になります。

○会長

データを中心に業務を進めるにあたって、間違ったデータを出力してしまい、そのデータが外部にでる等のリスクがあるかと思いますが、そういったところのチェック体制はどのようになっているのでしょうか。

○小松課長

チェックにつきましては、様々な視点や技術を利用していくこととなります。不正利用をしないさせないという観点や間違えてしまうと影響が大きい部分については特に安全策を講じる等の対応を考えております。

○会長

行政システムのなかでも民間に委託する部分もあるかと思いますが、委託契約の中で責任の明確化もきっちりしておくべきかと思いましたが、以上です。

○会長

他に何かご意見、ご質問はありませんでしょうか。

○佐藤晴子委員

はい。とても素晴らしい計画だと思いました。しかし、横文字や専門用語が多いと感じます。デジタルをあまりわからない人にとっては専門用語の近くに注釈などがあれば非常にありがたいと思います。以上です。

○小松課長

ご意見いただきありがとうございます。次々と新しい言葉が出てきておりますが、既存の言葉で伝わる部分については無理して専門用語や横文字を使わずに計画を作成してまいりたいと思います。

○出雲勲委員（以下、「出雲委員」と表記する）

私からも意見です。いつでもどこでも身近な市役所という記載が資料の中にありましたけれども私のようなデジタル難民を生み出さないよう、どこまでもアナログでの対応もしていただけるようお願いしたいと思います。

また、ペーパーレス化の推進ということですが、市に補助金を申請するのに何十枚の紙の申請書を作成しています。どこまで本気でやる気があるのかなと思っています。今日の資料にしても、何十枚の資料をしっかりと読み込むにはとてもじゃないが難しかったです。その辺も含めて、ペーパーレス化についてはより考えていただきたいと思います。

また、デジタル人材の育成ということでしたが、いまだに育成段階なのかと疑問に思います。本気で取り組むのであればとうの昔に育成の段階は終わっているのではないかと思います。

せっかくの計画に腰を折るようで申し訳ありません。以上が私の意見です。

○小松課長

ご意見ありがとうございます。そのとおりでございます。

これまでの窓口等のアナログ対応につきましては、完全にデジタルに切り替わるわけではなく、残していくべきところは残していきたいと思います。そのうえでデジタルの恩恵を受けられる部分は取り入れてまいりたいと思います。

ペーパーレスについて、いよいよ本気になって取り組んでいかなければならないと思っております。紙が原本であることでその先に進めないといったところが、コロナ禍以降、デジタル化が急速に進んだことで見えてきたところです。働き方も変わっていく中で、紙が原本であると、職場に来なければ見れないという弊害が起きているところでもあります。また、生成AIが主流になってきている中で、紙であるとデータが読み込みづらいということも出てきております。今後はデータを主として本気で取り組んでいかなければ、もう一段上の業務効率化に繋がらないと私たちも実感しているところであります。

人材育成につきましては、ただ単にパソコンを使いこなせるようになるというよりも、より

一層職員の底上げをするという意味も込めて、そもそもデジタル化は何のためにやっているのか、どうせ同じことをするのであればデジタルで行った方が効率的ではないかという視点を持つような人材育成を行っていきたいと思います。ご意見、誠にありがとうございます。

○出雲委員

最後におっしゃったところが一番重要だと思います。そもそも何のためにデジタル化をしているのかということを改めて考えることが重要だと思います。ありがとうございます。

○会長

私もこの間、住民票を取りに行った際に何も記入せずとも住民票が取れました。これもデジタル化における恩恵の1つであると思いますので、ますます市民へのサービスがデジタル化により向上していくことを期待しております。

○会長

他に何かご意見、ご質問はありませんでしょうか。

意見がないようですので、議題（2）令和7年度地域枠予算申請状況について事務局から説明をお願いします。

○事務局

【配布資料に基づき説明】

○会長

ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はありませんでしょうか。

先ほどの説明の中で、私たちがやっている大沢郷地区の取り組みについてありましたので私からもご紹介させていただきます。資料の13番、「晩夏涼を楽しむ事業」については稲刈り前のひと時を地域住民みんなで楽しみ、にぎわいを生み出そうということで開催しました。ステージ発表、花火、出店等、盛りだくさんの内容でしたが、地域内外の若者が集まり、非常に良いイベントとなりましたので来年も継続をしていきたいと思います。以上です。

○会長

他に何かご意見、ご質問はありませんでしょうか。

意見がないようですので、議題（3）令和7年度彩色千輪プロジェクトの進捗状況について事務局から説明をお願いします。

○事務局

【配布資料に基づき説明】

○会長

ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はありませんでしょうか。

○会長

意見がないようですので、本日の全ての議題について、審議を終了しました。ご協力ありがとうございます。次に、次第では「その他」となっておりますが、委員の皆様や支所から何かありますでしょうか。

○事務局

はい。事務局から連絡になりますが、次回、地域協議会の開催については12月下旬を予定しております。後日、書面にてご連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。

○副会長

これをもちまして、令和7年度第2回西仙北地域協議会を閉会いたします。本日は、長時間にわたり、ありがとうございました。

(14時00分 開会)

(15時25分 閉会)

西仙北地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

出雲 勲

佐々木 剛幸